

2023年7月25日

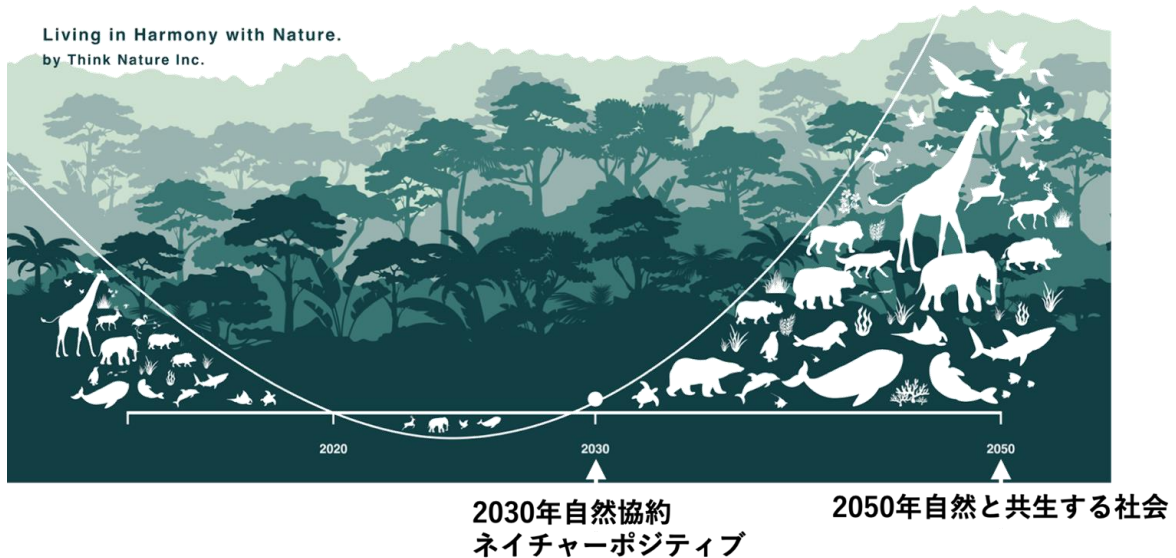
<報道発表資料>

沖縄セルラー電話株式会社
株式会社シンク・ネイチャー

“ネイチャー・ポジティブおきなわ”推進に向けた連携協定締結のお知らせ

沖縄セルラー電話株式会社（代表取締役社長：菅 隆志）と株式会社シンク・ネイチャー（代表取締役：久保田 康裕）は2023年6月26日、2030年ネイチャー・ポジティブ^{*1}の実現を目指して連携協定を締結いたしました。沖縄セルラーの通信技術とシンク・ネイチャーの生物多様性ビッグデータ&AIを掛け合わせ、「ちゅら島の価値を見える化」して沖縄の新たな産業基盤、生物多様性市場の創出を目指していきます。

※1：生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せ、自然を再興すること



沖縄は生息している生き物の種類が豊かで、希少な固有種も多く存在する地域となっており、生物多様性ホットスポットとして世界的にも注目されています。しかし、沖縄・世界中で野生生物の絶滅が危惧され、生物多様性が劣化しつつあります。SDGsのウェディングケーキモデル^{*2}でも図示されているように、バイオスフィアの生物多様性は、自然資本と言い換えることができ、社会経済の基盤であります。生き物の豊かさの消失は、私たち人類のサバイバビリティ（生存可能性）にも深刻な影響を与えます。そのため、生物多様性を保全再生し、人と自然が共生する社会を目指すことが、国際的な目標になっています。

※2：環境があってこそ、社会と経済が成り立つことを示す



※ストックホルム・レジリエンス・センター所長であるヨハン・ロックストローム氏が作成

2022年12月には生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)が開催され、2030年まで達成すべき23の目標が採択されました。陸と海の30%以上を自然保護区にする30by30、侵略的外来種の導入や定着を半減する、ビジネス活動における生物多様性への影響評価と情報開示の促進などが挙げられました。これらの目標はいずれも、生物多様性ホットスポットである沖縄がリードして取り組む課題です。

沖縄セルラー×シンク・ネイチャー 主な取り組み予定

このような社会課題に対応するため、沖縄の総合通信事業者である沖縄セルラーと琉球大学スタートアップのシンク・ネイチャーが連携し、沖縄発ネイチャー・ポジティブの実現に向けた様々な事業を推進していきます。具体的な共同取り組みは、以下を予定しています。

- 1) 生物多様性見える化アプリケーションの活用により、自然資本の豊かさを次世代に受け継いでいくための教育普及事業の推進。
- 2) 沖縄県関連企業の生物多様性対応に関する情報開示、2023年9月に正式提言されるTNFD(自然関連財務情報開示)対応を推進。
- 3) 将来的な沖縄ネイチャークレジット枠組み構築に向けた、共創コミュニティや関連したプロモーション活動の推進。

直近の連携活動として、特に1)の生物多様性見える化アプリ、ジュゴンズアイ(DugongsAI)β版を活用した、沖縄の生物多様性の教育普及事業に注力していきます。

ジュゴンズアイは、沖縄の生物多様性情報を網羅したアプリです。生物多様性ビッグデータとAIが見える化した“生物の豊かさ地図や、場所ごとの生き物一覧が見られる観察モード、車でガイドが聞けるドライブモードを備えています。

アプリの操作画面

17の生物分類群豊かさマップをチェック

ピンをタップして生き物の一覧を表示

観察モードを切り替え

観察した種を記録

対象分類群は
樹木、草花、鳥、トンボ、
チョウ、哺乳類、爬虫類、
両生類、淡水魚、海水魚、
貝類、甲殻類、サンゴ、
海藻、海草など

ThinkNature

シンク・ネイチャー

シンク・ネイチャーは、最先端のデータ解析を通して、生物多様性・生態系サービスのサステナビリティに関するソリューションを提供する、ネイチャー・データサイエンティストの「研究者スタートアップ」です。

私たちの強みは、卓越した研究実績を持つ研究者集団と、日本最大の生物多様性ビッグデータです。科学に基づき、未来社会のネイチャートランスフォーメーションを実現します。

think-nature.jp

ジュゴンズアイ（DugongsAI）β版：豊かさを知る冒険が、待っている！

沖縄は、生き物の豊かな地域です。しかし、自然界にひっそりと暮らしている野生生物の姿を、一般の人々が認識するのは難しいです。そういう、人知れない状況で、多くの生き物たちが人間活動によって消失し、自然資本の劣化に伴う経済的な不利益を、私たちは被りつつあるのです。沖縄の自然の豊かさを未来に受け継いでいくアクションを起こすためには、多くの人たちが生物多様性の価値を理解する必要があります。だからこそ、私たちの身の周りに暮らす生き物たちを「見える化」することが大事になります。そのような願いを込めて、私たちは、生物多様性可視化アプリを開発しました。沖縄の生き物の豊かさを象徴するジュゴンの名前を借りて、ジュゴンズアイと命名しました。アイには、AI（人工知能）、EYE（眼差し）、愛（Love）をかけています。生物多様性ビッグデータと人工知能を基にしたジュゴンズアイを通して、沖縄の豊かな自然を認識してもらい、生物多様性市場の創出へ向かうことを、私たちは期待しています。

アプリケーション関連サイト

iOS

<https://apps.apple.com/jp/app/id6448249588>

Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.thinknature.dugongsai>

アプリホームページ

<https://services.think-nature.jp/dugongsai/>



ジュゴンズアイ DugongsAI BETA

各社概要

- 沖縄セルラー電話株式会社について



代表取締役社長：菅 隆志

所在地：沖縄県那覇市松山 1 丁目 2 番 1 号

事業内容：電気通信事業 携帯電話サービスの提供

URL：<https://okinawa-cellular.jp>

■ 株式会社シンク・ネイチャーについて



生物多様性科学において卓越した研究業績を有する研究者で構成されている琉球大学発スタートアップです (<https://think-nature.jp>)。世界の陸・海を網羅した野生生物や生態系の時空間分布を、自然史の研究論文や標本情報、リモートセンシング（人工衛星・ドローンによる観測）、環境 DNA 調査、野生生物の行動記録（バイオロギング）、植物・動物愛好者の研究などで収集された生物関連データ（地理分布、遺伝子、機能特性、生態特性など）を元にビッグデータ化し、AI 等の最先端技術を用いたネイチャーの可視化や予測やシナリオ分析技術を有しています^{*3}。TNFD のデータカタリストイニシアティブに参画し、自然資本ビッグデータを活用した自然の持続的利用に関する分析、評価、ソリューション(TN LEAD^{*4})で、金融機関・機関投資家・企業の生物多様性対応を支援しています。

※3：日本の生物多様性地図化プロジェクト：J-BMP (<https://biodiversity-map.thinknature-japan.com>)

※4：全産業セクター&グローバルな事業拠点に対応した TNFD 対応支援サービス(<https://think-nature.jp/service03>)

<問い合わせ先>

沖縄セルラー電話株式会社
サステナビリティ経営推進部 石川 涼子
電話：098-951-0639

株式会社シンク・ネイチャー
広報担当 山下 加奈
電話：080-3431-3496